

令和 3 年 6 月 23 日現在

機関番号：82606

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H03589

研究課題名(和文) 集団における疾病の罹患・死亡状況の要因分析と介入効果の予測研究

研究課題名(英文) A simulation modelling study to examine the effects of underlying factors and control measures on disease incidence and mortality in a population

研究代表者

片野田 耕太 (Katanoda, Kota)

国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策情報センター・部長

研究者番号：00356263

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,600,000円

研究成果の概要(和文)：日本のがんの罹患および死亡に関するシミュレーションモデルの構築、数理分析および予防危険因子に関する疫学的解析を実施し、胃内視鏡検診の対象年齢および受診間隔の最適条件、大腸がん検診において国のがん対策推進基本計画の目標値である受診率50%、精検受診率90%が達成された場合の死亡率減少効果、過去のB型・C型肝炎対策によるキャリア数の減少効果および死亡率減少効果、包括的たばこ対策の実施による将来の死亡数減少効果の推計、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスのgenotype別感染率、前立腺がんが早期がんで著明に増加し、遠隔転移がんおよび死亡で減少が顕著でないことを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

わが国において、疾病の予測モデルは新型コロナウイルス感染症など感染症疫学とその対策には広く使われているが、慢性疾患については発展途上である。本研究により胃がん、大腸がん、肝細胞がん、喫煙起因死亡について妥当性の確認されたシミュレーションモデルが構築されたことは学術的に大きな進歩である。日本のがん対策においては、予防、検診、治療いずれもガイドラインが策定されているが、その実施や普及による効果や最適な実施条件が明らかでなかった。本研究によりがん検診の最適条件の検討や国の目標値の実現効果など評価が一部可能になったことで、科学的根拠に基づくがん対策の立案が可能となる。

研究成果の概要(英文)：We developed simulation models for cancer incidence and mortality and conducted population-based analysis on preventive/risk factors in Japan. For stomach cancer, we elucidated an optimal condition of endoscopic cancer screening. For colorectal cancer, we quantified the effect in mortality reduction of realizing the national goal of screening: 50% participation rate and 90% detailed examination rate. For hepatocellular carcinoma, we revealed the effect of the ongoing national programs for hepatitis control in the number of carriers and deaths by hepatocellular carcinoma. For prostate cancer, we found an evident increase in localized cases without any clear decrease in distant cases or mortality. For prevention/risk factors, we estimated the effect of comprehensive tobacco control policies on mortality reduction, and the national prevalence of human papilloma virus by genotype. These findings are useful to implement evidence-based cancer controls in Japan.

研究分野：疫学

キーワード：がん対策 政策評価 シミュレーション モデル

## 1. 研究開始当初の背景

集団におけるがんの罹患率および死亡率は、対策によってある程度コントロールが可能である。具体的には、がんの発生要因である感染や喫煙を減らす予防対策、死亡率減少効果のあるがん検診、生命予後の改善につながる治療を広く普及させることにより、がんの罹患または死亡を減らすことができる。しかし、対策によって適用範囲、効果の大きさ、必要な資源が異なることから、いずれの対策を選択すべきかは集団によって異なる。例えば、肺がん対策として、日本では喫煙対策、検診、新たな薬剤の開発と普及が同時に行われているが、開発途上国では喫煙対策が中心である。国民医療費の増大と生産年齢人口の減少、あるいは新型コロナウイルス感染症のような新たな社会問題の発生に伴って、今後日本でも保健医療対策の優先順位決定の必要性が生じると考えられる。

疾病の罹患や死亡を減らすための対策や治療の効果は、大規模な疫学研究や臨床試験で検証され、ガイドラインで推奨レベルが決定される。しかし、予防、検診、治療の各分野で新たな集団介入の手法が開発されており、それらの組み合わせや対象年齢の設定などについて実証的研究ですべての答えを出すのは困難である。

この問題を解決するための手法がシミュレーション研究である。米国では、National Cancer Institute が CISNET (<https://cisnet.cancer.gov/>) というプロジェクトを立ち上げ、乳がんの死亡率減少におけるマンモグラフィと補助化学療法の効果の寄与を定量化した結果や[1]、大腸がん死亡率において予防、検診、治療の中で検診の効果が最も大きいという結果ことが示されている[2]。感染症分野では、肝炎ウイルス検査と直接作用型抗ウイルス薬 (DAA) の普及により C 型肝炎ウイルス感染を 22 年後に希少疾患 (1500 人に 1 人以下) に減らせるという試算も出されている[3]。これらのアプローチは、疾病対策のガイドライン作成において標準的な手法として位置づけられている[4]。

日本では、申請者が、がんの罹患率および死亡率の変化について、部位別の寄与度の推計や、予防危険因子、検診、診断、および治療の効果の要因分析を行い、例えば前立腺がんの増加が PSA (prostate specific antigen) 検診の普及の影響であることなどを示してきた[5, 6]。しかし、これらの分析は定性的なものにとどまり、各要因がどの程度これらのがんの増減の変化に影響しているかの解明には至っていない。限られた資源でより効果的、効率的に国民の疾病負荷を減らすためには、過去の罹患率および死亡率の変化の原因の解明と、将来の介入効果の予測が可能なるシミュレーションモデルが必要である。

## 2. 研究の目的

本研究では、がんの部位別に罹患・死亡のシミュレーションモデルを構築し、過去の変化の要因分析および将来の介入効果・費用の予測を行うことを目的とする。

## 3. 研究の方法

### 【胃がん】

胃がんの予防危険因子、内視鏡検診、前がん病変から前臨床、臨床胃がんの成長、死亡までを表現した日本人集団のマイクロシミュレーションモデルを構築した。内視鏡検診の開始年齢 (40、45、50 歳)、終了年齢 (75 歳、80 歳、なし)、および受診間隔 (2 年、3 年) の組み合わせで政策シナリオを設定し、質調整生存年数 (QALY) をアウトカム willingness-to-pay を 500 米ドル/QALY として費用対効果分析を行った[7]。その結果、開始年齢 50 歳、終了年齢 75 歳、3 年毎の受診が最も費用対効果が優れていた (検診なしと比べて 45,665 米ドル/QALY の増加、63% の生涯胃がん死亡率減少、人口千人当たり 27.2QALY の増加)。この結果は感度分析の結果でも同様であった。本研究により、日本における胃がん内視鏡検診の最適な条件が明らかとなった。

### 【大腸がん】

大腸がんの便潜血検診、前がん病変である腺腫、前臨床、臨床大腸がんの成長、死亡までを表現した日本人集団のマイクロシミュレーションモデルを構築した[8]。がん対策推進基本計画の目標として設定されている検診受診率 50%、精密検査受診率 90% が実現した場合の大腸がん年齢調整死亡率減少効果を当該モデルにより推計した。その結果、検診受診率 50% の実現で死亡率 3.7% 減、精検受診率 90% 実現で死亡率 5.7% 減、両方の実現で死亡率 9.4% 減の実現が可能だと推計された。これらの結果は、国のがん対策推進基本計画における死亡率の数値目標設定と評価に有用である。

### 【肝臓がん】

ウイルス性肝炎 (B 型、C 型) の無症候性キャリア、慢性肝炎、肝硬変、肝細胞がん、死亡までを表現したシミュレーションモデルを構築した。2000 年の肝炎ウイルス検査受検・医療機関受療率、抗ウイルス療法著効率、肝細胞がん死亡率を固定したシナリオと、2015 年までの治療著効率の改善状況などを反映させたシナリオ間で、肝炎ウイルスキャリア数および肝細胞がん死亡数を比較することで、肝炎対策の効果の推定を行った。その結果、C 型肝炎キャリア数は 2008 年ごろから、肝細胞がん死亡数は 2010 年前後から差がみられ、2015 年までの改善状況を反映し

たシナリオのほうが少なくなっていた。この結果により、2000 年以降の肝炎対策、治療の進歩の効果を定量的に示すことができた。

#### 【前立腺がん】

前立腺がんの PSA 検査普及の影響を記述疫学的に検討するために、山形、福井、長崎の 3 県の高精度地域がん登録データを用いて、臨床進行度別のトレンド分析を実施した。臨床進行度不明例に multiple imputation で補完し、1993～2014 年の臨床進行度別前立腺がん年齢調整罹患率トレンドに Joinpoint 回帰分析を適用した[9]。その結果、限局(がんが前立腺にとどまる症例)は 1993 年から 2000 年まで横ばい、2000 年から 2003 年まで統計学的に有意でない増加をした後(年変化率+41.8%)、2014 年まで有意に増加した(年変化率+4.1%)。一方、遠隔転移症例は 1993 年から 2004 年まで有意に増加し(年変化率+2.4%)、その後 2014 年まで有意に減少した(年変化率-2.2%)。最後の遠隔転移症例の有意な減少は、感度分析として行った死亡票のみ症例を除外した分析では有意ではなくなった(年変化率-1.5%)。2000 年から 2003 年にかけては PSA 検診が自治体に普及した時期と一致しており、早期がんの著明な増加の背景に PSA 検診の普及が関係していることが推察された。この時期以降は前立腺がんの遠隔転移症例の罹患率減少が微減にとどまっており、死亡率も同様であることから、PSA 検査による進行がん罹患率および死亡率減少効果は限定的であることが示唆された。

#### 【子宮頸がん】

子宮頸がんワクチンの普及効果の推定に用いる基礎資料の策定のために、日本女性における HPV の genotype 別感染率のメタアナリシスを実施した[10]。PubMed, Embase、および医学中央雑誌のデータベースから、2021 年 3 月時点で、日本人女性の子宮頸部細胞診正常例、軽度・高度異常例、浸潤がん例についての HPV genotype 別感染率の論文を抽出した。80 数研究、約 50 万例のデータが抽出され、genotype 別、年齢階級別の HPV 感染率の統合値と 95%信頼区間を算出した。結果については論文投稿準備中である。

#### 【その他のがん】

食道、膵臓、胆嚢・胆管、乳房(女性)、子宮体部、膀胱、腎・尿路、甲状腺、悪性リンパ腫などのがんについても、罹患率および死亡率のトレンド分析を行い、日本においてがんの年齢調整罹患率が減少局面に入っていることを明らかにし、がん種別の要因について文献的に考察した[11]。

#### 【たばこ対策】

国民健康・栄養調査の性別・年齢階級別の現在喫煙率の年次推移データから集団レベルの禁煙率を推定し、人口動態統計の全死因死亡率および出生率の将来推計を加味したモデルを構築した。このモデルに先行研究に基づくたばこ対策の効果を組み合わせて、現状維持シナリオ、包括的たばこ対策履行シナリオの 2 つについて将来の死亡数を比較した。その結果、包括的たばこ対策履行により 2100 年までに男女計で数十万人の死亡が回避できると推計された(暫定結果)。肺がんについてもサブ解析での推計が可能となった。最終的な推計結果については論文投稿準備中である。

#### 【まとめ】

本研究により、胃がん、大腸がん、肝細胞がん、およびたばこ対策について政策活用が可能なシミュレーションモデルが構築できた。当初は肺がん、女性乳がん、子宮頸がん、前立腺がんについてもモデル構築および政策活用まで実施する予定であったが、これらについては予備的解析にとどまった。がんのシミュレーションモデルを用いた研究はわが国では発展途上であり、データの入手可能性、学際的な人的リソースの確保と育成など課題が多い。一方、新型コロナウイルス感染症の流行で医療資源の配分など人口集団全体の疾病予測モデルは今後ニーズが高まることが予想される。医療経済学など他の医学領域、感染症など他の疾患領域、工学など他の学問領域と連携して、この研究分野をより発展させていく必要がある。

## 4. 研究成果

日本のがんの罹患および死亡に関するシミュレーションモデルの構築、数理分析および予防危険因子に関する疫学的解析を実施し、胃内視鏡検診の対象年齢および受診間隔の最適条件、大腸がん検診において国のがん対策推進基本計画の目標値である受診率 50%、精検受診率 90%が達成された場合の死亡率減少効果、過去の B 型・C 型肝炎対策によるキャリア数の減少効果および死亡率減少効果、包括的たばこ対策の実施による将来の死亡数減少効果の推計、子宮頸がんの原因となるヒトパピローウイルスの genotype 別感染率、前立腺がんが早期がんで著明に増加し、遠隔転移がんおよび死亡で減少が顕著でないことを明らかにした。

#### < 引用文献 >

- 1) Berry, D.A., Cronin, K.A., Plevritis, S.K., Fryback, D.G., Clarke, L., Zelen, M., Mandelblatt, J.S., Yakovlev, A.Y., Habbema, J.D., Feuer, E.J., Cancer, I., Surveillance Modeling Network, C., Effect of screening and adjuvant therapy on mortality from breast cancer. *N Engl J Med*, 2005. 353(17): p. 1784-92.
- 2) Edwards, B.K., Ward, E., Kohler, B.A., Ehemann, C., Zaubler, A.G., Anderson, R.N., Jemal, A., Schymura, M.J., Lansdorp-Vogelaar, I., Seeff, L.C., van Ballegooijen, M., Goede, S.L., Ries, L.A., Annual report to the nation on the status of cancer,

- 1975-2006, featuring colorectal cancer trends and impact of interventions (risk factors, screening, and treatment) to reduce future rates. *Cancer*, 2010. 116(3): p. 544-73.
- 3) Kabiri, M., Jazwinski, A.B., Roberts, M.S., Schaefer, A.J., Chhatwal, J., The changing burden of hepatitis C virus infection in the United States: model-based predictions. *Ann Intern Med*, 2014. 161(3): p. 170-80.
  - 4) Use of decision model in the development of evidence-based clinical preventive services recommendations. U.S. Preventive Services Task Force, [2016年10月6日 accessed]; Available from: <https://www.uspreventiveservicestaskforce.org/Page/Name/use-of-decision-models-in-the-development-of-evidence-based-clinical-preventive-services-recommendations>.
  - 5) Katanoda, K., Hori, M., Matsuda, T., Shibata, A., Nishino, Y., Hattori, M., Soda, M., Ioka, A., Sobue, T., Nishimoto, H., An updated report on the trends in cancer incidence and mortality in Japan, 1958-2013. *Jpn J Clin Oncol*, 2015. 45(4): p. 390-401.
  - 6) Katanoda, K., Matsuda, T., Matsuda, A., Shibata, A., Nishino, Y., Fujita, M., Soda, M., Ioka, A., Sobue, T., Nishimoto, H., An updated report of the trends in cancer incidence and mortality in Japan. *Jpn J Clin Oncol*, 2013. 43(5): p. 492-507.
  - 7) Huang, H.L., Leung, C.Y., Saito, E., Katanoda, K., Hur, C., Kong, C.Y., Nomura, S., Shibuya, K., Effect and cost-effectiveness of national gastric cancer screening in Japan: a microsimulation modeling study. *BMC Med*, 2020. 18(1): p. 257.
  - 8) 加茂憲一, 福井敬祐, 坂本亘, 伊藤ゆり, がん対策立案・評価における意思決定に寄与するマイクロシミュレーションの構築:大腸がんを事例に. *計量生物学*, 2021. 41(2): p. 93-115.
  - 9) Saito, E., Hori, M., Matsuda, T., Yoneoka, D., Ito, Y., Katanoda, K., Long-term Trends in Prostate Cancer Incidence by Stage at Diagnosis in Japan Using the Multiple Imputation Approach, 1993-2014. *Cancer Epidemiol Biomarkers Prev*, 2020. 29(6): p. 1222-1228.
  - 10) Palmer, M., Katanoda, K., Saito, E., Martellucci, C.A., Ostuki, S., Nomura, S., Ota, E., Brotherton, J.M.L., Hocking, J., National genotype prevalence and age distribution of human papillomavirus from infection to cervical cancer in Japanese women: a systematic review and meta-analysis protocol. *Syst Rev*, 2021. 10(1): p. 135.
  - 11) Katanoda, K., Hori, M., Saito, E., Shibata, A., Ito, Y., Minami, T., Ikeda, S., Suzuki, T., Matsuda, T., Updated trends in cancer in Japan: incidence in 1985-2015 and mortality in 1958-2018 - a sign of decrease in cancer incidence. *J Epidemiol*, 2021.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計115件（うち査読付論文 84件 / うち国際共著 19件 / うちオープンアクセス 37件）

1. 著者名 Hori Megumi, Saito Eiko, Katanoda Kota, Tsugane Shoichiro	4. 巻 50
2. 論文標題 Estimation of lifetime cumulative mortality risk of lung cancer by smoking status in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1218 ~ 1224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyaa094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Hori Megumi, Tanaka Hirokazu, Saito Eiko, Wakai Kenji, Katanoda Kota	4. 巻 51
2. 論文標題 Response to Dr Shikata's letter: 'Secondhand smoke exposure and risk of lung cancer in Japan: a systematic review and meta-analysis of epidemiologic studies'	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 661 ~ 661
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyaa255	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Huang Hsi-Lan, Leung Chi Yan, Saito Eiko, Katanoda Kota, Hur Chin, Kong Chung Yin, Nomura Shuhei, Shibuya Kenji	4. 巻 18
2. 論文標題 Effect and cost-effectiveness of national gastric cancer screening in Japan: a microsimulation modeling study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Medicine	6. 最初と最後の頁 257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12916-020-01729-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Katanoda Kota, Hori Megumi, Saito Eiko, Shibata Akiko, Ito Yuri, Minami Tetsuji, Ikeda Sayaka, Suzuki Tatsuya, Matsuda Tomohiro	4. 巻 in press
2. 論文標題 Updated trends in cancer in Japan: incidence in 1985-2015 and mortality in 1958-2018 - a sign of decrease in cancer incidence	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20200416	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lou Yan Kwan, Okawa Sumiyo, Meza Rafael, Katanoda Kota, Tabuchi Takahiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Nicotine dependence of cigarette and heated tobacco users in Japan, 2019: a cross-sectional analysis of the JASTIS Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Tobacco Control	6. 最初と最後の頁 2020-056237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/tobaccocontrol-2020-056237	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mawditt Claire, Sasayama Kiriko, Katanoda Kota, Gilmour Stuart	4. 巻 -
2. 論文標題 The Clustering of Health-Related Behaviors in the Adult Japanese Population	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20200120	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Palmer Matthew, Katanoda Kota, Saito Eiko, Martellucci Cecilia Acuti, Ostuki Shiori, Nomura Shuhei, Ota Erika, Brotherton Julia M. L., Hocking Jane	4. 巻 10
2. 論文標題 National genotype prevalence and age distribution of human papillomavirus from infection to cervical cancer in Japanese women: a systematic review and meta-analysis protocol	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Systematic Reviews	6. 最初と最後の頁 135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13643-021-01686-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito Eiko, Hori Megumi, Matsuda Tomohiro, Yoneoka Daisuke, Ito Yuri, Katanoda Kota	4. 巻 29
2. 論文標題 Long-term Trends in Prostate Cancer Incidence by Stage at Diagnosis in Japan Using the Multiple Imputation Approach, 1993?2014	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Epidemiology Biomarkers & Prevention	6. 最初と最後の頁 1222 ~ 1228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1055-9965.EPI-19-1228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito Eiko, Goto Atsushi, Kanehara Rieko, Ohashi Ken, Noda Mitsuhiko, Matsuda Tomohiro, Katanoda Kota	4. 巻 11
2. 論文標題 Prevalence of diabetes in Japanese patients with cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 1159 ~ 1162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usui Yoshiaki, Ito Hidemi, Koyanagi Yuriko, Shibata Akiko, Matsuda Tomohiro, Katanoda Kota, Maeda Yoshinobu, Matsuo Keitaro	4. 巻 147
2. 論文標題 Changing trend in mortality rate of multiple myeloma after introduction of novel agents: A population based study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 3102 ~ 3109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.33135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Motoyama Satoru, Maeda Eri, Yano Masahiko, Yasuda Takushi, Ohira Masaichi, Kajiyama Yoshiaki, Higashi Takahiro, Doki Yuichiro, Matsubara Hisahiro	4. 巻 17
2. 論文標題 Esophagectomy performed at institutes certified by the Japan Esophageal Society provide long-term survival advantages to esophageal cancer patients: second report analyzing 4897 cases with propensity score matching	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Esophagus	6. 最初と最後の頁 141 ~ 148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10388-019-00712-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yazaki S., Yamauchi T., Higashi T.	4. 巻 25
2. 論文標題 High hepatitis B virus screening rate among patients receiving systemic anticancer treatment in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1327 ~ 1333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-020-01655-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyamoto Kenichi, Wakabayashi Masashi, Mizusawa Junki, Nakamura Kenichi, Katayama Hiroshi, Higashi Takahiro, Inomata Masafumi, Kitano Seigo, Fujita Shin, Kanemitsu Yukihide, Fukuda Haruhiko	4. 巻 46
2. 論文標題 Evaluation of the representativeness and generalizability of Japanese clinical trials for localized rectal/colon cancer: Comparing participants in the Japan Clinical Oncology Group study with patients in Japanese registries	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 European Journal of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 1642 ~ 1648
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejso.2020.04.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kojo Kosuke, Kawai Koji, Kawahara Takashi, Kimura Tomokazu, Kandori Shuya, Nagumo Yoshiyuki, Nitta Satoshi, Kojima Takahiro, Okuyama Ayako, Higashi Takahiro, Nishiyama Hiroyuki	4. 巻 50
2. 論文標題 Recent malignant testicular tumor trend in Japan, a country with an aging population: a large-scale study of 2012?2015 hospital-based cancer registry data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1201 ~ 1208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyaa110	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Ken, Kandori Shuya, Nitta Satoshi, Chihara Ichiro, Kojo Kosuke, Nagumo Yoshiyuki, Kimura Tomokazu, Kojima Takahiro, Kawai Koji, Okuyama Ayako, Higashi Takahiro, Nishiyama Hiroyuki	4. 巻 27
2. 論文標題 Characteristics of penile cancer in Japan: An analysis of nationwide hospital based cancer registry data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Urology	6. 最初と最後の頁 538 ~ 542
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/iju.14247	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishii Taisuke, Nakano Eriko, Watanabe Tomone, Higashi Takahiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Epidemiology and practice patterns for male breast cancer compared with female breast cancer in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 6069 ~ 6075
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.3267	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Kimura Tomokazu, Kawai Koji, Kandori Shuya, Nitta Satoshi, Kojo Kosuke, Nagumo Yoshiyuki, Negoro Hiromitsu, Okuyama Ayako, Higashi Takahiro, Kojima Takahiro, Nishiyama Hiroyuki	4. 巻 25
2. 論文標題 Impact of centralization in primary retroperitoneal sarcoma treatment: analysis using hospital-based cancer registry data in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1687 ~ 1694
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-020-01709-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Akira, Higashi Takahiro, Shibata Taro, Yoshida Akihiko, Katoh Yoko, Fujiwara Yasuhiro, Nishida Toshiro	4. 巻 50
2. 論文標題 Rare cancers in Japan: definition, clinical features and future perspectives	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 970 ~ 975
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyaa121	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Motoyama Satoru, Maeda Eri, Iijima Katsunori, Sato Yusuke, Koizumi Shigeto, Wakita Akiyuki, Nagaki Yushi, Fujita Hiromu, Yoneya Takatoshi, Imai Kazuhiro, Terata Kaori, Minamiya Yoshihiro, Higashi Takahiro	4. 巻 Publish Ahead of Print
2. 論文標題 Does Esophagectomy Provide a Survival Advantage to Patients Aged 80 Years or Older? Analyzing 5,066 Patients in the National Database of Hospital-Based Cancer Registries in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Annals of Surgery	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/sla.0000000000004437	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ren Nice, Nishimura Ataru, Kurogi Ai, Nishimura Kunihiro, Matsuo Ryu, Ogasawara Kuniaki, Hashimoto Yoichiro, Higashi Takahiro, Sakai Nobuyuki, et al.	4. 巻 85
2. 論文標題 Measuring Quality of Care for Ischemic Stroke Treated With Acute Reperfusion Therapy in Japan The Close The Gap-Stroke	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Circulation Journal	6. 最初と最後の頁 201 ~ 209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-20-0639	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 東 尚弘	4. 巻 82
2. 論文標題 特集 消化器悪性腫瘍診療におけるガイドラインの功罪 1. 総論 2. ガイドラインの効果を測る-Quality Indicatorによる評価	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 外科	6. 最初と最後の頁 601 ~ 605
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15106/j_geka82_601	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamo Ken-ichi, Fukui Keisuke, Sakamoto Wataru, Ito Yuri	4. 巻 41
2. 論文標題 Microsimulation model for evaluating the effect of cancer control program: example for colorectal cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Biometrics	6. 最初と最後の頁 93 ~ 115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5691/jjb.41.93	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaki Okuda, Yukinobu Ichida, Keita Yamane, Rika Ohtsuka, Miwa Yamaguchi, Rei Goto, Atsuhiko Yamada, Atsushi Sannabe, Naoki Kondo, Takashi Oshio	4. 巻 3(2)
2. 論文標題 Preferences for the forms of co-payment and advance payment in healthcare services; a discrete choice experiment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.6011/apj.2021.01	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tominaga Ryoji, Yamazaki Shin, Fukuma Shingo, Goto Rei, Sekiguchi Miho, Otani Koji, Iwabuchi Masumi, Shirado Osamu, Fukuhara Shunichi, Konno Shin-ichi	4. 巻 92
2. 論文標題 Association between single limb standing test results and healthcare costs among community-dwelling older adults	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 104256 ~ 104256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2020.104256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Emoto Naoya, Soga Akimi, Fukuda Izumi, Tanimura-Inagaki Kyoko, Harada Taro, Koyano Hajime M, Goto Rei, Sugihara Hitoshi	4. 巻 Volume 13
2. 論文標題 Irrational Responses to Risk Preference Questionnaires by Patients with Diabetes with or without Retinopathy and Comparison with Those without Diabetes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Diabetes, Metabolic Syndrome and Obesity: Targets and Therapy	6. 最初と最後の頁 4961 ~ 4971
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/DMSO.S283591	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sawada Atsuro, Hiragi Shusuke, Tamura Hiroshi, Goto Rei, Matsuyama Yoko, Sakai Kaoru, Miyata Hitomi, Yanagita Motoko, Kuroda Tomohiro, Ogawa Osamu, Kobayashi Takashi	4. 巻 53
2. 論文標題 Evaluation of the Quality of Life and Health-Related Quality of Life of Patients With End-Stage Kidney Disease Resulting From Kidney Transplantation Using the Kidney Disease Quality of Life-Short Form and EuroQOL-5 Dimension-5 Level Questionnaires	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 881 ~ 884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2020.09.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuoka Yoshinori, Goto Rei, Atsumi Takahiro, Morimura Naoto, Nagao Ken, Tahara Yoshio, Asai Yasufumi, Yokota Hiroyuki, Ariyoshi Koichi, Yamamoto Yosuke, Sakamoto Tetsuya	4. 巻 157
2. 論文標題 Cost-effectiveness of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for out-of-hospital cardiac arrest: A multi-centre prospective cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Resuscitation	6. 最初と最後の頁 32 ~ 38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2020.10.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori Takeshi, Goto Rei	4. 巻 20
2. 論文標題 Prevalence of problem gambling among Japanese adults	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Gambling Studies	6. 最初と最後の頁 231 ~ 239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14459795.2020.1713852	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ko Ko, Nagashima Shintaro, Yamamoto Chikako, Takahashi Kazuaki, Matsuo Junko, Ohisa Masayuki, Akita Tomoyuki, Matyakubov Jamshid, Mirzaev Ulugbek, Katayama Keiko, Masaki Takao, Tanaka Junko	4. 巻 92
2. 論文標題 Eighteen year follow up cohort study on hepatitis B and C virus infections related long term prognosis among hemodialysis patients in Hiroshima	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Medical Virology	6. 最初と最後の頁 3436 ~ 3447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jmv.26215	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto Chikako, Nagashima Shintaro, Chuon Channarena, Ko Ko, Huy Do Son, Lim Oline, Hok Sirany, Svay Somana, Matsuo Junko, Katayama Keiko, Takahashi Kazuaki, Tanaka Junko	4. 巻 12
2. 論文標題 Substitution of the CD81 Binding Site and -Sandwich Area in E2 of HCV in Cambodia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 551 ~ 551
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12050551	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ko Ko, Takahashi Kazuaki, Nagashima Shintaro, Yamamoto Chikako, Ork Vichit, Sugiyama Aya, Akita Tomoyuki, Ohisa Masayuki, Chuon Channarena, Hossain Md. Shafiqul, Mao Bunsoth, Tanaka Junko	4. 巻 20
2. 論文標題 Existence of hepatitis B virus surface protein mutations and other variants: demand for hepatitis B infection control in Cambodia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Infectious Diseases	6. 最初と最後の頁 305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12879-020-05025-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Lingani Moussa, Akita Tomoyuki, Ouoba Serge, Nagashima Shintaro, Boua Palwende Romuald, Takahashi Kazuaki, Kam Basile, Sugiyama Aya, Nikiema Th?odore, Yamamoto Chikako, Som? Athanase, Derra Karim, Ko Ko, Sorgho Hermann, Tarnagda Zekiba, Tinto Halidou, Tanaka Junko	4. 巻 20
2. 論文標題 The changing epidemiology of hepatitis B and C infections in Nanoro, rural Burkina Faso: a random sampling survey	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Infectious Diseases	6. 最初と最後の頁 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12879-019-4731-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto Chikako, Nagashima Shintaro, Isomura Mitsuo, Ko Ko, Chuon Channarena, Akita Tomoyuki, Katayama Keiko, Woodring Joseph, Hossain Md. Shafiqul, Takahashi Kazuaki, Tanaka Junko	4. 巻 10
2. 論文標題 Evaluation of the efficiency of dried blood spot-based measurement of hepatitis B and hepatitis C virus seromarkers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 3857
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-60703-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kono Kanako, Morisada Tohru, Saika Kumiko, Aoki Eiko Saitoh, Miyagi Etsuko, Ito Kiyoshi, Takahashi Hirokazu, Nakayama Tomio, Saito Hiroshi, Aoki Daisuke	4. 巻 32
2. 論文標題 The first-round results of a population-based cohort study of HPV testing in Japanese cervical cancer screening: baseline characteristics, screening results, and referral rate	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Gynecologic Oncology	6. 最初と最後の頁 e29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3802/jgo.2021.32.e29	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Akiko, Takahashi Hirokazu, Tsunoda Hiroko, Suzuki Akihiko, Uematsu Takayoshi, Kasahara Yoshio	4. 巻 30
2. 論文標題 The impact of the COVID-19 outbreak on the intention of women to undergo breast cancer screening	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nihon Nyugan Kenshin Gakkaishi (Journal of Japan Association of Breast Cancer Screening)	6. 最初と最後の頁 55 ~ 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3804/jjabcs.30.55	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hishiki T, Matsumoto K, Ohira M, Kamijo T, Shichino H, Kuroda T, Yoneda A, Soejima T, Nakazawa A, Takimoto T, Yokota I, Teramukai S, Takahashi H, et al.	4. 巻 25
2. 論文標題 Correction to: Results of a phase II trial for high-risk neuroblastoma treatment protocol JN-H-07: a report from the Japan Childhood Cancer Group Neuroblastoma Committee (JNBSG)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1744 ~ 1745
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-020-01752-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueshima Hiroaki, Yozu Arito, Takahashi Hideto, Noguchi Haruko, Tamiya Nanako	4. 巻 11
2. 論文標題 The association between activities of daily living and long hours of care provided by informal caregivers using a nationally representative survey in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SSM - Population Health	6. 最初と最後の頁 100565 ~ 100565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ssmph.2020.100565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashiba Chieko, Imahashi Mayumi, Imamura Junji, Nakahata Masashi, Kogure Ayumi, Takahashi Hideto, Yokomaku Yoshiyuki	4. 巻 23
2. 論文標題 Factors Associated with Attrition: Analysis of an HIV Clinic in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Immigrant and Minority Health	6. 最初と最後の頁 250 ~ 256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10903-020-00982-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyawaki Atsushi, Kobayashi Yasuki, Noguchi Haruko, Watanabe Taeko, Takahashi Hideto, Tamiya Nanako	4. 巻 20
2. 論文標題 Effect of reduced formal care availability on formal/informal care patterns and caregiver health: a quasi-experimental study using the Japanese long-term care insurance reform	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-020-01588-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iehara Tomoko, the Japan Children's Cancer Group Neuroblastoma Committee, Yoneda Akihiro, Kikuta Atsushi, Muraji Toshihiro, Tokiwa Kazuaki, Takahashi Hideto, Teramukai Satoshi, Takimoto Tetsuya, Yagyu Shigeki, Hosoi Hajime, Tajiri Tatsuro	4. 巻 20
2. 論文標題 A phase II JN-I-10 efficacy study of IDRF-based surgical decisions and stepwise treatment intensification for patients with intermediate-risk neuroblastoma: a study protocol	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Pediatrics	6. 最初と最後の頁 212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12887-020-02061-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Taeko, Sugiyama Takehiro, Takahashi Hideto, Noguchi Haruko, Tamiya Nanako	4. 巻 10
2. 論文標題 Concordance of hypertension, diabetes and dyslipidaemia in married couples: cross-sectional study using nationwide survey data in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e036281 ~ e036281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-036281	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Hideto, Yasumura Seiji, Takahashi Kunihiko, Ohira Tetsuya, Ohtsuru Akira, Midorikawa Sanae, Suzuki Satoru, Shimura Hiroki, Ishikawa Tetsuo, Sakai Akira, Suzuki Shinichi, Yokoya Susumu, Tanigawa Koichi, Ohto Hitoshi, Kamiya Kenji	4. 巻 99
2. 論文標題 Nested matched case control study for the Japan Fukushima Health Management Survey's first full-scale (second-round) thyroid examination	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e20440 ~ e20440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.0000000000020440	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirono K, Miyao N, Yoshinaga M, Nishihara E, Yasuda K, Tateno S, Ayusawa M, Sumitomo N, Horigome H, Iwamoto M, Takahashi H, et al.	4. 巻 35
2. 論文標題 A significance of school screening electrocardiogram in the patients with ventricular noncompaction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Heart and Vessels	6. 最初と最後の頁 985 ~ 995
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00380-020-01571-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamai Yoshiko, Ohto Hitoshi, Takahashi Hideto, Kitazawa Junichi	4. 巻 35
2. 論文標題 Transfusion-Related Alloimmunization to Red Blood Cell Antigens in Japanese Pediatric Recipients	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Transfusion Medicine Reviews	6. 最初と最後の頁 29 ~ 36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tmr.2020.09.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohira Tetsuya, Shimura Hiroki, Hayashi Fumikazu, Nagao Masanori, Yasumura Seiji, Takahashi Hideto, et al.	4. 巻 61
2. 論文標題 Absorbed radiation doses in the thyroid as estimated by UNSCEAR and subsequent risk of childhood thyroid cancer following the Great East Japan Earthquake	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 243 ~ 248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rrz104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshinaga Masao, Miyazaki Ayumi, Aoki Machiko, Ogata Hiromitsu, Ito Yoshiya, Hamajima Takashi, Tokuda Masakuni, Lin Lisheng, Horigome Hitoshi, Takahashi Hideto, Nagashima Masami	4. 巻 62
2. 論文標題 Promoting physical activity through walking to treat childhood obesity, mainly for mild to moderate obesity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 976 ~ 984
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14253	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi Kunihiko, Takahashi Hideto, Nakaya Tomoki, Yasumura Seiji, Ohira Tetsuya, Ohto Hitoshi, Ohtsuru Akira, Midorikawa Sanae, Suzuki Shinichi, Shimura Hiroki, Yamashita Shunichi, Tanigawa Koichi, Kamiya Kenji	4. 巻 30
2. 論文標題 Factors Influencing the Proportion of Non-examinees in the Fukushima Health Management Survey for Childhood and Adolescent Thyroid Cancer: Results From the Baseline Survey	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 301 ~ 308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180247	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Mikiya, Tamiya Nanako, Jin Xueying, Watanabe Taeko, Takahashi Hideto, Noguchi Haruko	4. 巻 22
2. 論文標題 Impact of a Japanese Incentivization Program to Increase End-of-Life Care Outside of Hospitals	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the American Medical Directors Association	6. 最初と最後の頁 329 ~ 333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jamda.2020.09.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 森山 葉子、森川 美絵、中村 裕美、白岩 健、田宮 菜奈子、高橋 秀人	4. 巻 69
2. 論文標題 日本語版ASCOTによる要介護高齢者の社会的ケア関連QOLの測定と関連要因	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 保健医療科学	6. 最初と最後の頁 460 ~ 470
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20683/jniph.69.5_460	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Eiko, Goto Atsushi, Kanehara Rieko, Ohashi Ken, Noda Mitsuhiko, Matsuda Tomohiro, Katanoda Kota	4. 巻 11
2. 論文標題 Prevalence of diabetes in Japanese patients with cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 1159 ~ 1162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saito Eiko, Hori Megumi, Matsuda Tomohiro, Yoneoka Daisuke, Ito Yuri, Katanoda Kota	4. 巻 29
2. 論文標題 Long-term Trends in Prostate Cancer Incidence by Stage at Diagnosis in Japan Using the Multiple Imputation Approach, 1993?2014	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Epidemiology Biomarkers & Prevention	6. 最初と最後の頁 1222 ~ 1228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1055-9965.EPI-19-1228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hori Masatsugu, Tanahashi Norio, Akiyama Sayako, Kiyabu Grace, Dorey Julie, Goto Rei	4. 巻 23
2. 論文標題 Cost-effectiveness of rivaroxaban versus warfarin for stroke prevention in non-valvular atrial fibrillation in the Japanese healthcare setting	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Medical Economics	6. 最初と最後の頁 252 ~ 261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13696998.2019.1688821	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uno Shuji, Goto Rei, Suzuki Kenshi, Iwasaki Kosuke, Takeshima Tomomi, Ohtsu Tomoko	4. 巻 23
2. 論文標題 Current treatment patterns and medical costs for multiple myeloma in Japan: a cross-sectional analysis of a health insurance claims database	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Medical Economics	6. 最初と最後の頁 166 ~ 173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13696998.2019.1686870	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanabe Ryunosuke, Kamo Ken-ichi, Fukui Keisuke, Imori Shinpei	4. 巻 49
2. 論文標題 Statistical inference for estimating the incidence of cancer at the prefectural level in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 481 ~ 485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyz033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Masaki, Inagaki Masatoshi, Shimazu Taichi, Kodama Masafumi, So Ryuhei, Matsushita Takanori, Yoshimura Yusaku, Horii Shigeo, Fujimori Maiko, Takahashi Hirokazu, Nakaya Naoki, Kakeda Kyoko, Miyaji Tempei, Hinotsu Shiro, Harada Keita, Okada Hiroyuki, Uchitomi Yosuke, Yamada Norihito	4. 巻 9
2. 論文標題 A randomised controlled trial of a case management approach to encourage participation in colorectal cancer screening for people with schizophrenia in psychiatric outpatient clinics: study protocol for the J-SUPPORT 1901 (ACCESS) study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e032955 ~ e032955
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-032955	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 雑賀公美子、齊藤英子、河野可奈子、青木大輔、森定徹、高橋宏和、中山富雄、斎藤 博	4. 巻 27
2. 論文標題 市区町村事業として実施されている子宮頸がん検診に ヒトパピローマウイルス (HPV) 検査を導入した 自治体におけるがん検診体制の実情	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本がん検診・診断学会誌 Vol.27 No.2 Page 126-133 (2019.12)	6. 最初と最後の頁 126-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町井涼子、高橋宏和、中山富雄	4. 巻 vol. 66 No. 7
2. 論文標題 日本の対策型検診における直近5年度分の偶発症頻度について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 厚生指標 vol. 66 No. 7 Page 13-19 (2019.7)	6. 最初と最後の頁 13-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤英子、片野田耕太	4. 巻 36
2. 論文標題 ゲノム医療の経済評価における研究動向と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊	6. 最初と最後の頁 55-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 片野田耕太、堀芽久美、齋藤英子	4. 巻 24
2. 論文標題 国および都道府県のがん75歳未満年齢調整死亡率の予測値	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JACR Monograph	6. 最初と最後の頁 54-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hirokazu、Ishikawa Koichi B.、Katanoda Kota	4. 巻 28
2. 論文標題 Geographic Access to Cancer Treatment in Japan: Results From a Combined Dataset of the Patient Survey and the Survey of Medical Institutions in 2011	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 470 ~ 475
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20170051	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukami Yasuyuki, Kaneoka Yuji, Maeda Atsuyuki, Kumada Takashi, Tanaka Junko, Akita Tomoyuki, Kubo Shoji, Izumi Namiki, Kadoya Masumi, Sakamoto Michiie, Nakashima Osamu, Matsuyama Yutaka, Kokudo Takashi, Hasegawa Kiyoshi, Yamashita Tatsuya, Kashiwabara Kosuke, Takayama Tadatoshi, Kokudo Norihiro, Kudo Masatoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Liver Resection for Multiple Hepatocellular Carcinomas	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Surgery	6. 最初と最後の頁 1~1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/SLA.0000000000003192	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada Toshifumi, Kumada Takashi, Toyoda Hidenori, Tsuji Kunihiro, Hiraoka Atsushi, Michitaka Kojiro, Deguchi Akihiro, Ishikawa Toru, Imai Michitaka, Ochi Hironori, Joko Koji, Shimada Noritomo, Tajiri Kazuto, Hirooka Masashi, Koizumi Yohei, Hiasa Yoichi, Tanaka Junko	4. 巻 34
2. 論文標題 Impact of albumin?bilirubin grade on survival in patients with hepatocellular carcinoma who received sorafenib: An analysis using time dependent receiver operating characteristic	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 1066~1073
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.14564	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toyoda Hidenori, Kumada Takashi, Tada Toshifumi, Mizuno Kazuyuki, Sone Yasuhiro, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko, Johnson Philip J.	4. 巻 39
2. 論文標題 The impact of HCV eradication by direct-acting antivirals on the transition of precancerous hepatic nodules to HCC: A prospective observational study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Liver International	6. 最初と最後の頁 448~454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/liv.13987	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagashima Shintaro, Yamamoto Chikako, Ko Ko, Chuon Channarena, Sugiyama Aya, Ohisa Masayuki, Akita Tomoyuki, Katayama Keiko, Yoshihara Masaharu, Tanaka Junko	4. 巻 37
2. 論文標題 Acquisition rate of antibody to hepatitis B surface antigen among medical and dental students in Japan after three-dose hepatitis B vaccination	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Vaccine	6. 最初と最後の頁 145~151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vaccine.2018.11.019	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Chikako, Ko Ko, Nagashima Shintaro, Harakawa Takayuki, Fujii Toshiko, Ohisa Masayuki, Katayama Keiko, Takahashi Kazuaki, Okamoto Hiroaki, Tanaka Junko	4. 巻 9
2. 論文標題 Very low prevalence of anti-HAV in Japan: high potential for future outbreak	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-37349-1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiramatsu Akira, Aikata Hiroshi, Tanaka Junko, et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Levocarnitine Use Is Associated With Improvement in Sarcopenia in Patients With Liver Cirrhosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hepatology Communications	6. 最初と最後の頁 348 ~ 355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep4.1309	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka J., Akita T., Ohisa M., Sakamune K., Ko K., Uchida S., Satake M.	4. 巻 25
2. 論文標題 Trends in the total numbers of HBV and HCV carriers in Japan from 2000 to 2011	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Viral Hepatitis	6. 最初と最後の頁 363 ~ 372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jvh.12828	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kaishima Terumi, Akita Tomoyuki, Ohisa Masayuki, Sakamune Kazuaki, Kurisu Akemi, Sugiyama Aya, Aikata Hiroshi, Chayama Kazuaki, Tanaka Junko	4. 巻 48
2. 論文標題 Cost-effectiveness analyses of anti-hepatitis C virus treatments using quality of life scoring among patients with chronic liver disease in Hiroshima prefecture, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 509 ~ 520
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.13053	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki Kazumi, Tanaka Junko, Kurisu Akemi, Akita Tomoyuki, Ohisa Masayuki, Sakamune Kazuaki, Ko Ko, Sugiyama Aya, Yasaka Takahiro, Shirahama Satoshi	4. 巻 90
2. 論文標題 Natural course of persistent hepatitis B virus infection in hepatitis B e antigen-positive and hepatitis B e antigen-negative cohorts in Japan based on the Markov model	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Medical Virology	6. 最初と最後の頁 1800 ~ 1813
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jmv.25260	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toyoda Hidenori, Kumada Takashi, Tada Toshifumi, Mizuno Kazuyuki, Hiraoka Atsushi, Tsuji Kunihiko, Ishikawa Toru, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko	4. 巻 38
2. 論文標題 Impact of hepatocellular carcinoma aetiology and liver function on the benefit of surveillance: A novel approach for the adjustment of lead-time bias	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Liver International	6. 最初と最後の頁 2260 ~ 2268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/liv.13927	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toyoda Hidenori, Kumada Takashi, Tada Toshifumi, Mizuno Kazuyuki, Sone Yasuhiro, Kaneoka Yuji, Maeda Atsuyuki, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko	4. 巻 48
2. 論文標題 Impact of previously cured hepatocellular carcinoma (HCC) on new development of HCC after eradication of hepatitis C infection with non-interferon-based treatments	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Alimentary Pharmacology & Therapeutics	6. 最初と最後の頁 664 ~ 670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/apt.14914	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada Toshifumi, Kumada Takashi, Toyoda Hidenori, Ohisa Masayuki, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko	4. 巻 53
2. 論文標題 Long-term natural history of liver disease in patients with chronic hepatitis B virus infection: an analysis using the Markov chain model	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 1196 ~ 1205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-018-1467-x	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Shigeharu, Satake Masahiro, Kurisu Akemi, Sugiyama Aya, Ko Ko, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko	4. 巻 58
2. 論文標題 Incidence rates of hepatitis C virus infection among blood donors in Japan: a nationwide retrospective cohort study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transfusion	6. 最初と最後の頁 2880 ~ 2885
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/trf.14951	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lingani Moussa, Akita Tomoyuki, Ouoba Serge, Sanou Armel Moumini, Sugiyama Aya, Tarnagda Zekiba, Ohisa Masayuki, Tinto Halidou, Mishiro Shunji, Tanaka Junko	4. 巻 18
2. 論文標題 High prevalence of hepatitis B infections in Burkina Faso (1996?2017): a systematic review with meta-analysis of epidemiological studies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 551
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-018-5432-7	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirata Fumihito, Ishiyama Kohei, Tanaka Yuka, Kobayashi Tsuyoshi, Hashimoto Masakazu, Saeki Yoshihiro, Ishida Nobuki, Taguchi Kazuhiro, Tanaka Junko, Arihiro Koji, Ohdan Hideki, Hiroshima Surgical Study Group of Clinical Oncology (HiSCO)	4. 巻 2
2. 論文標題 Effect of bevacizumab plus XELOX (CapeOX) chemotherapy on liver natural killer cell activity in colorectal cancer with resectable liver metastasis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annals of Gastroenterological Surgery	6. 最初と最後の頁 383 ~ 393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ags3.12195	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Estes Chris, Anstee Quentin M, Tanaka Junko, et al.	4. 巻 69
2. 論文標題 Modeling NAFLD disease burden in China, France, Germany, Italy, Japan, Spain, United Kingdom, and United States for the period 2016?2030	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Hepatology	6. 最初と最後の頁 896 ~ 904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jhep.2018.05.036	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshio Sachiyo, Mano Yohei, Doi Hiroyoshi, Shoji Hirotaka, Shimagaki Tomonari, Sakamoto Yuzuru, Kawai Hironari, Matsuda Michitaka, Mori Taizo, Osawa Yosuke, Korenaga Masaaki, Sugiyama Masaya, Mizokami Masashi, Mita Eiji, Katayama Keiko, Tanaka Junko, Kanto Tatsuya	4. 巻 3
2. 論文標題 Cytokine and chemokine signatures associated with hepatitis B surface antigen loss in hepatitis B patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.122268	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Machii Ryoko, Saika Kumiko, Kasuya Kayoko, Takahashi Hirokazu, Saito Hiroshi	4. 巻 48
2. 論文標題 Trends in the quality assurance process indicators for Japanese colorectal cancer screening during 2003?13	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 329 ~ 334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyy022	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda Ayako, Saika Kumiko, Tanaka Rina, Ito Yuri, Fukui Keisuke, Kamo Ken-Ichi	4. 巻 19
2. 論文標題 Simulation Models in Gastric Cancer Screening: A Systematic Review	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	6. 最初と最後の頁 3321 ~ 3334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31557/APJCP.2018.19.12.3321	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iesato Kotoe, Hori Tsukasa, Yoto Yuko, Yamamoto Masaki, Inazawa Natsuko, Kamo Kenichi, Ikeda Hiroshi, Iyama Satoshi, Hatakeyama Naoki, Iguchi Akihiro, Sugita Junichi, Kobayashi Ryoji, Suzuki Nobuhiro, Tsutsumi Hiroyuki	4. 巻 60
2. 論文標題 Long-term prognosis of human herpesvirus 6 reactivation following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 547 ~ 552
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.13551	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Tanaka Kenichi, Kajimoto Tsuyoshi, Hayashi Takahiro, Asanuma Osamu, Hori Masakazu, Kamo Ken-ichi, Sumida Iori, Takahashi Yutaka, Tateoka Kunihiko, Bengua Gerard, Sakata Koh-ichi, Endo Satoru	4. 巻 59
2. 論文標題 An in vitro verification of strength estimation for moving an 125I source during implantation in brachytherapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Radiation Research	6. 最初と最後の頁 484 ~ 489
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jrr/rry021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanabe Ryunosuke, Kamo Ken-ichi, Fukui Keisuke, Imori Shinpei	4. 巻 49
2. 論文標題 Statistical inference for estimating the incidence of cancer at the prefectural level in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 481 ~ 485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyz033	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiragi S., Goto R., Tanaka Y., Matsuyama Y., Sawada A., Sakai K., Miyata H., Tamura H., Yanagita M., Kuroda T., Ogawa O., Kobayashi T.	4. 巻 51
2. 論文標題 Estimating the Net Utility Gains Among Donors and Recipients of Adult Living Donor Kidney Transplant	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 676 ~ 683
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2019.01.049	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goto Rei, Mori Takeshi	4. 巻 18
2. 論文標題 Comparison of Equity Preferences for Life Expectancy Gains: A Discrete Choice Experiment among the Japanese and Korean General Public	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Value in Health Regional Issues	6. 最初と最後の頁 8 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vhri.2018.05.004	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamo Ken-ichi	4. 巻 18
2. 論文標題 A New Approach to Classify Growth Patterns Based on Growth Function Selection and K-means Method	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FORMATH	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15684/formath.003	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi H	4. 巻 28
2. 論文標題 Overdiagnosis by conducting cancer screening other than guidelines in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/eurpub/cky218.143	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Otani Katharina, Haruyama Rei, Gilmour Stuart	4. 巻 15
2. 論文標題 Prevalence and Correlates of Hypertension among Japanese Adults, 1975 to 2010	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 1645 ~ 1645
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph15081645	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤弘陸, 後藤励	4. 巻 39
2. 論文標題 子ども医療費助成制度による医療サービス消費・健康への影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Progress in Medicine	6. 最初と最後の頁 171-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤 励	4. 巻 53(8)
2. 論文標題 対策型胃内視鏡検診の費用対効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 胃と腸	6. 最初と最後の頁 1169-1172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hirokazu, Ishikawa Koichi B., Katanoda Kota	4. 巻 28
2. 論文標題 Geographic Access to Cancer Treatment in Japan: Results From a Combined Dataset of the Patient Survey and the Survey of Medical Institutions in 2011	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 470 ~ 475
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20170051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taniyama Yukari, Katanoda Kota, Charvat Hadrien, Hori Megumi, Ohno Yuko, Sasazuki Shizuka, Tsugane Shoichiro	4. 巻 47
2. 論文標題 Estimation of lifetime cumulative incidence and mortality risk of gastric cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1097 ~ 1102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyx128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuda Ayako, Saika Kumiko, Tanaka Rina, Ito Yuri, Fukui Keisuke, Kamo Ken-Ichi	4. 巻 19
2. 論文標題 Simulation Models in Gastric Cancer Screening: A Systematic Review	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	6. 最初と最後の頁 3321 ~ 3334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31557/APJCP.2018.19.12.3321	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Polaris Observatory Collaborators(Tanaka J含む)	4. 巻 3
2. 論文標題 Global prevalence, treatment, and prevention of hepatitis B virus infection in 2016: a modelling study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Lancet Gastroenterology & Hepatology	6. 最初と最後の頁 383 ~ 403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S2468-1253(18)30056-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaishima Terumi, Akita Tomoyuki, Ohisa Masayuki, Sakamune Kazuaki, Kurisu Akemi, Sugiyama Aya, Aikata Hiroshi, Chayama Kazuaki, Tanaka Junko	4. 巻 48
2. 論文標題 Cost-effectiveness analyses of anti-hepatitis C virus treatments using quality of life scoring among patients with chronic liver disease in Hiroshima prefecture, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 509 ~ 520
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.13053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada Toshifumi, Kumada Takashi, Toyoda Hidenori, Kiriya Seiki, Tanikawa Makoto, Hisanaga Yasuhiro, Kanamori Akira, Kitabatake Shusuke, Yama Tsuyoki, Tanaka Junko	4. 巻 47
2. 論文標題 Post-treatment levels of $\alpha$ -fetoprotein predict long-term hepatocellular carcinoma development after sustained virological response in patients with hepatitis C	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 1021 ~ 1031
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama Aya, Ohisa Masayuki, Nagashima Shintaro, Yamamoto Chikako, Chuon Channarena, Fujii Toshiko, Akita Tomoyuki, Katayama Keiko, Kudo Yoshiki, Tanaka Junko	4. 巻 47
2. 論文標題 Reduced prevalence of hepatitis B surface antigen positivity among pregnant women born after the national implementation of immunoprophylaxis for babies born to hepatitis B virus-carrier mothers in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 1329 ~ 1334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12943	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada Toshifumi, Kumada Takashi, Toyoda Hidenori, Kiriyama Seiki, Tanikawa Makoto, Hisanaga Yasuhiro, Kanamori Akira, Kitabatake Shusuke, Yama Tsuyoki, Tanaka Junko	4. 巻 32
2. 論文標題 Viral eradication reduces all-cause mortality, including non-liver-related disease, in patients with progressive hepatitis C virus-related fibrosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 687 ~ 694
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.13589	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo Junko, Do Son Huy, Yamamoto Chikako, Nagashima Shintaro, Chuon Channarena, Katayama Keiko, Takahashi Kazuaki, Tanaka Junko	4. 巻 12
2. 論文標題 Clustering infection of hepatitis B virus genotype B4 among residents in Vietnam, and its genomic characters both intra- and extra-family	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0177248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0177248	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujimoto Mayumi, Chuon Channarena, Nagashima Shintaro, Yamamoto Chikako, Ko Ko, Svay Somana, Hok Sirany, Lim Olline, Ohisa Masayuki, Akita Tomoyuki, Katayama Keiko, Matsuo Junko, Takahashi Kazuaki, Tanaka Junko	4. 巻 48
2. 論文標題 A seroepidemiological survey of the effect of hepatitis B vaccine and hepatitis B and C virus infections among elementary school students in Siem Reap province, Cambodia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 E172 ~ E182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12941	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Toyoda Hidenori, Kumada Takashi, Tada Toshifumi, Yama Tsuyoki, Mizuno Kazuyuki, Sone Yasuhiro, Maeda Atsuyuki, Kaneoka Yuji, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko	4. 巻 108
2. 論文標題 Differences in the impact of prognostic factors for hepatocellular carcinoma over time	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2438 ~ 2444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13406	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama Aya, Fujii Toshiko, Nagashima Shintaro, Ohisa Masayuki, Yamamoto Chikako, Chuon Channarena, Akita Tomoyuki, Matsuo Junko, Katayama Keiko, Takahashi Kazuaki, Tanaka Junko	4. 巻 48
2. 論文標題 Pilot study for hepatitis virus screening among employees as an effective approach to encourage employees who screened positive to receive medical care in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 E291 ~ E302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12986	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada Toshifumi, Kumada Takashi, Toyoda Hidenori, Mizuno Kazuyuki, Sone Yasuhiro, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko	4. 巻 1
2. 論文標題 Progression of liver fibrosis is associated with non-liver-related mortality in patients with nonalcoholic fatty liver disease	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hepatology Communications	6. 最初と最後の頁 899 ~ 910
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep4.1105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujii Toshiko, Ohisa Masayuki, Sako Toru, Harakawa Takayuki, Sakamune Kazuaki, Nagashima Shintaro, Sugiyama Aya, Matsuura Yuichiro, Tanaka Junko	4. 巻 33
2. 論文標題 Incidence and risk factors of colorectal cancer based on 567324 health checkups: A 7-year retrospective cohort study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 855 ~ 862
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.14020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka J., Akita T., Ohisa M., Sakamune K., Ko K., Uchida S., Satake M.	4. 巻 25
2. 論文標題 Trends in the total numbers of HBV and HCV carriers in Japan from 2000 to 2011	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Viral Hepatitis	6. 最初と最後の頁 363 ~ 372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jvh.12828	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tada Toshifumi, Kumada Takashi, Toyoda Hidenori, Kobayashi Natsuko, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko	4. 巻 33
2. 論文標題 Hepatitis B virus core-related antigen levels predict progression to liver cirrhosis in hepatitis B carriers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 918 ~ 925
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.13989	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉山文、海嶋照美、坂宗和明、田中純子.	4. 巻 59(1)
2. 論文標題 肝炎医療コーディネーターの活動実態調査研究ー広島県および全国調査の結果からー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 肝臓	6. 最初と最後の頁 33-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoji Koichi, Teishima Jun, Hayashi Tetsutaro, Shinmei Shunsuke, Akita Tomoyuki, Sentani Kazuhiro, Takeshima Yukio, Arihiro Koji, Tanaka Junko, Yasui Wataru, Matsubara Akio	4. 巻 14
2. 論文標題 A comparison of clinicopathological features and prognosis in prostate cancer between atomic bomb survivors and control patients	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 299 ~ 305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2017.6119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki S, Shigeishi H, Akita T, Tanaka J, Sugiyama M.	4. 巻 11(2)
2. 論文標題 Efficacy of cognitive-behavioral therapy for patients with temporomandibular disorder pain-systematic review of previous reports	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical and Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 500-509
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada T., Kumada T., Toyoda H., Sone Y., Takeshima K., Ogawa S., Goto T., Wakahata A., Nakashima M., Nakamuta M., Tanaka J.	4. 巻 47
2. 論文標題 Viral eradication reduces both liver stiffness and steatosis in patients with chronic hepatitis C virus infection who received direct-acting anti-viral therapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Alimentary Pharmacology & Therapeutics	6. 最初と最後の頁 1012 ~ 1022
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/apt.14554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato Hiroataka, Goto Rei	4. 巻 7
2. 論文標題 Effect of reducing cost sharing for outpatient care on children's inpatient services in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Health Economics Review	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13561-017-0165-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sano Hiroshi, Goto Rei, Hamashima Chisato	4. 巻 12
2. 論文標題 Does lack of resources impair access to breast and cervical cancer screening in Japan?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0180819
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0180819	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤 励	4. 巻 68(5)
2. 論文標題 喫煙(禁煙)の医療経済に及ぼす影響	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本気管食道科学会会報	6. 最初と最後の頁 352-357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 後藤 励	4. 巻 3(2)
2. 論文標題 医療における費用対効果とは？	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Board Square	6. 最初と最後の頁 50-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukaiida Kenichi, Hattori Noboru, Iwamoto Hiroshi, Onari Yojiro, Nishimura Yoshifumi, Kondoh Keiichi, Akita Tomoyuki, Tanaka Junko, Kohno Nobuoki	4. 巻 74
2. 論文標題 Mustard gas exposure and mortality among retired workers at a poisonous gas factory in Japan: a 57-year follow-up cohort study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Occupational and Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 321 ~ 327
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/oemed-2015-103437	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Hideto, Takahashi Kunihiro, Shimura Hiroki, Yasumura Seiji, Suzuki Satoru, Ohtsuru Akira, Midorikawa Sanae, Ohira Tetsuya, Ohto Hitoshi, Yamashita Shunichi, Kamiya Kenji	4. 巻 96
2. 論文標題 Simulation of expected childhood and adolescent thyroid cancer cases in Japan using a cancer-progression model based on the National Cancer Registry	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e8631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000008631	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計104件 (うち招待講演 11件 / うち国際学会 35件)

1. 発表者名 Palmer, M., Katanoda, K., Saito, E., Marellucci, C., Ostuki, S., Nomura, S., Ota, E., Brotherton, J.M., Hocking, J.
2. 発表標題 National genotype prevalence and age distribution of human papillomavirus from infection to cervical cancer in Japanese women: a systematic review and meta-analysis
3. 学会等名 33rd International Papillomavirus Conference. Barcelona, Spain (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀芽久美, 齋藤英子, 松田智大, 片野田耕太
2. 発表標題 がん罹患率の都道府県差とその動向
3. 学会等名 地域がん登録全国協議会第28回学術集会. 札幌
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片野田耕太
2. 発表標題 がん対策・がん研究における数理モデルの活用 Mathematical models as a tool for cancer control and research
3. 学会等名 令和元年度 第5回 疫学・疾病制御学勉強会. 広島
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Katanoda, K.
2. 発表標題 How to connect epidemiology to policy: an example of tobacco
3. 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. Kyoto, Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hori, M., Saito, E., Nakaya, T., Katanoda, K.
2. 発表標題 Bayesian Mapping of Cancer Mortality in Japan: A Small Area Analysis
3. 学会等名 The 41th Annual IACR Conference. Vancouver, Canada
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大槻曜生、齋藤順子、早川雅代、片野田耕太、松田智大、高橋宏和、高橋都、吉見逸郎、島津太一
2. 発表標題 日本人におけるがんに関する健康情報へのアクセス、IT利用、健康行動についての調査
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 高知
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤英子、雑賀公美子、河野可奈子、森定徹、高橋宏和、中山富雄、斎藤博、青木大輔
2. 発表標題 2. 地域住民に対する子宮頸がん検診での集団検診と個別検診の精度管理状況の比較 - 直近2年間の精検受診について -
3. 学会等名 第28回日本婦人科がん検診学会学術講演会 奈良
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加茂憲一
2. 発表標題 罹患登録率推定モデルによる全国と北海道の比較
3. 学会等名 日本がん登録協議会第28回学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahashi H, Matsumoto A, Nakayama T
2. 発表標題 Cancer screening may cause overdiagnosis in Japan
3. 学会等名 Preventing Overdiagnosis, Sydney Australia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kono K, Matsuda K, Machii R, Saika K, Takahashi H, Nakayama T
2. 発表標題 The status of compliance with guideline of cancer screening in Japan
3. 学会等名 12th European Public Health Conference Marseille France (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahashi H, Matsumoto A, Matsuda K, Machii R, Saika K, Nakayama T
2. 発表標題 Overdiagnosis by conducting cancer screening other than guidelines in Japan
3. 学会等名 Guidelines International Network, Adelaide Australia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahashi H
2. 発表標題 Lung cancer screening in Japan
3. 学会等名 APEC Regional Workshop on Lung Cancer Prevention and Control Beijing China (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋宏和
2. 発表標題 乳癌検診における国外の状況について
3. 学会等名 第29回乳癌検診学会学術総会 ワークショップ 福井
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本綾希子、高橋宏和、中山富雄
2. 発表標題 第29回乳癌検診学会学術総会 ワークショップ 福井
3. 学会等名 過剰診断について
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鉢嶺元誉、町井涼子、高橋宏和、宮里治、金城福則、斎藤博
2. 発表標題 大腸がん検診精検受診率向上を目的とした、県主導による精度管理体制の構築について
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 ポスター 高知
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋宏和、雑賀公美子、松田和子、町井涼子、斎藤博、中山富雄
2. 発表標題 都道府県が市区町村に指導および推奨するがん検診内容の実態
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 高知
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本綾希子、高橋宏和、中山富雄
2. 発表標題 乳癌検診において単回の要精検率が累積偽陽性率に及ぼす影響
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 高知
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋宏和、中山富雄
2. 発表標題 がん検診における普及と実装
3. 学会等名 第42回日本がん疫学・分子疫学研究会総会 シンポジウム 東京
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠原善郎、鈴木昭彦、植松孝悦、角田博子、高橋宏和
2. 発表標題 高濃度乳房問題に関する現状と課題
3. 学会等名 第27回日本乳癌学会学術総会 シンポジウム 新宿
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 雑賀公美子、松田一夫、高橋宏和、町井涼子、斎藤 博
2. 発表標題 がん検診のプロセス指標の基準値の設定手法について
3. 学会等名 第58回日本消化器がん検診学会総会 付置研究会 岡山
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川俊夫、喜多村祐里、高橋宏和、飯地智紀、山口真寛、武藤正樹、今村知明、祖父江友孝
2. 発表標題 レセプトを用いた職域がん検診の精度 管理指標の算出手法の検討
3. 学会等名 第92回日本産業衛生学会総会 名古屋
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Leung, C.Y., Huang, H.-L., Saito, E., Nomura, S., Katanoda, K., Matsuda, T., Shibuya, K
2. 発表標題 Benefits and harms of gastric cancer screening and prevention in Japan: A microsimulation modeling analysis
3. 学会等名 World Cancer Congress, Kuala Lumpur, Malasia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fukui, K., Ito, Y., Kamo, K., Katanoda, K., Nakayama, T.
2. 発表標題 Estimation of effects of colorectal cancer screening by Fecal Occult Blood Test for reduction in colorectal cancer mortality based on micro-simulation model
3. 学会等名 The 40th Annual IACR Conference, Alequipa (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片野田耕太
2. 発表標題 日本での新たな学問領域の必要性と可能性
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会, 東京
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福井敬祐, 加茂憲一, 伊藤ゆり, 片野田耕太, 中山富雄
2. 発表標題 マイクロシミュレーションモデルを用いた大腸がん検診における受診年齢上限の検討
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会, 東京
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤英子, 片野田耕太, 堀芽久美, 松田智大
2. 発表標題 がん登録データにおける欠損値補完のための多重代入法の検討
3. 学会等名 地域がん登録全国協議会第27回学術集会, 沖縄
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀芽久美, 齋藤英子, 高松寛子, 片野田耕太
2. 発表標題 全国がん登録データを利用した疾病地図表示ツールの開発に向けて
3. 学会等名 地域がん登録全国協議会第27回学術集会, 沖縄
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片野田耕太, 堀芽久美, 齋藤英子
2. 発表標題 国および都道府県のがん75歳未満年齢調整死亡率の予測値
3. 学会等名 地域がん登録全国協議会第27回学術集会, 沖縄
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片野田耕太
2. 発表標題 J-CIPシンポジウム がん登録の未来-患者・地域に解決をもたらすデータサイエンスへの進化のために-国ができること
3. 学会等名 地域がん登録全国協議会第27回学術集会, 沖縄
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Katanoda, K., Hori, M., Saito, E.
2. 発表標題 Cancer statistics -past trends and future perspectives.
3. 学会等名 The 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, Osaka, Japan (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Katanoda, K
2. 発表標題 Trends in cervical cancer statistics and effects of HPV control
3. 学会等名 The 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, Osaka, Japan (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hori, M., Saito, E., Matsuda, T., Shibata, A., Katanoda, K.
2. 発表標題 Distribution and incidence of ovarian cancer by histologic subtypes in Japan
3. 学会等名 The 40th Annual IACR Conference, Alequipa (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秋田智之, 坂宗和明, 杉山文, 瀬戸山浩子, 考藤達哉, 田中純子
2. 発表標題 肝炎ウイルス検査受検率に関連する促進要因：層化二段無作為抽出による国民調査から
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会, 東京
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大久真幸, 木村哲, 田中純子
2. 発表標題 HIV/HCV重複感染の肝病態推移に関する理論疫学的研究
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会, 東京
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中純子
2. 発表標題 病因論に基づいた肝癌対策としての肝炎ウイルス対策の現状と課題
3. 学会等名 第48回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会, 岐阜 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大久真幸, 杉山文, 秋田智之, 栗栖あけみ, 芥田憲夫, 田中純子
2. 発表標題 NAFLD患者の肝病態推移に関する理論疫学的研究 - 糖尿病の有無別にみた長期予後の比較 -
3. 学会等名 第62回中国四国合同産業衛生学会, 島根
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中純子
2. 発表標題 疫学的視点から見たウイルス肝炎の現状と課題
3. 学会等名 第40回日本消化吸収学会総会, 千葉 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshio S, Doi H, Shimagaki T, Sakamoto Y, Kawai H, Osawa Y, Korenaga M, Mita E, Katayama K, Tanaka J, Kanto T
2. 発表標題 CXCL13 and IL-21 Are Potential Biomarkers Associating with HBsAg Loss in Patients with acute or Chronic Hepatitis B
3. 学会等名 AASLD The Liver Meeting 2018, SAN FRANCISCO, USA (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nishida N, Sasaki Y, Tanaka J, Kanto T
2. 発表標題 Establishment and Application of the Dried Blood Spots(DBS) Genotyping of Genes Involving in HBV infection or Pathogenesis: A comparative Analysis of Healthy Donors and Patients with Chronic HBV Infection
3. 学会等名 AASLD The Liver Meeting 2018, SAN FRANCISCO, USA (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ko Ko, 大久真幸, 杉山文, 秋田智之, 田中純子
2. 発表標題 Systematic Review and Meta-analysis on prevalence of Hepatitis B and C infection in Myanmar
3. 学会等名 第22回日本肝臓学会 (JDDW 2018), 神戸
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mino M, Sugiyama A, Tanaka J
2. 発表標題 Epidemiology of hepatitis B virus in Japan and Asia
3. 学会等名 第22回日本肝臓学会 (JDDW 2018), 神戸
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tanaka J
2. 発表標題 Public awareness activities on hepatitis virus screening in Hiroshima prefecture and their effectiveness
3. 学会等名 第22回日本肝臓学会 (JDDW 2018), 神戸
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamamoto C, Nagashima S, Svay S, Hok S, Do SH, Chuon C, Ko K, Fujii H, Katayama K, Takahashi K, Tanaka J
2. 発表標題 Genetic variability of HCV among general population in Cambodia
3. 学会等名 25th International Symposium on Hepatitis C virus and Related Viruses(HCV2018), アイルランド, ダブリン (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中純子
2. 発表標題 我が国の肝炎ウイルス感染 最新の話
3. 学会等名 第42回日本血液事業学会総会, 千葉 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tanaka J
2. 発表標題 Epidemiology of HBV and HCV infections in Japan from the viewpoint of viral hepatitis eradication
3. 学会等名 The 3rd MYONGJI INTERNATIONAL LIVER SYMPOSIUM, 韓国 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tanaka J
2. 発表標題 Pathway from the Epidemiological Point of View; Moving towards the Elimination of HBV & HCV in Japan
3. 学会等名 2018 APASL Single Topic Conference on Hepatitis B Virus Taipei, Taiwan (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大久真幸, 松尾順子, 田中純子
2. 発表標題 診療報酬記録に基づいた肝疾患関連患者の重複疾患数の推計
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中純子
2. 発表標題 特別発言 肝炎ウイルスの新規感染や再活性化の現状とその対策
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ko Ko, 永島慎太郎, 山本周子, Mutalov Boburjou, Juraev Jasur, 杉山文, 大久真幸, 秋田智之, 片山恵子, 田中純子
2. 発表標題 透析患者コホート疫学調査2017-血液透析患者コホートの長期予後と死因に関する調査研究-
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大久真幸, 三浦宜彦, 田中純子
2. 発表標題 日本における肝がん死亡の地理的分布に関する研究2011-2015年を追加した、計45年間の推移
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本周子, 永島慎太郎, Chuon Channarena, Ko Ko, 大久真幸, 秋田智之, 片山恵子, 高橋和明, 田中純子
2. 発表標題 DBSを用いた肝炎ウイルスマーカー測定の検出効率の検討
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 永島慎太郎, 山本周子, 山下真未, Ko Ko, 片山恵子, 小山富子, 田中純子
2. 発表標題 小児生活習慣病健診受診者3,774例を対象とした肝炎ウイルス感染状況および、B型肝炎ウイルス測定系の比較
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chuon Channarena, Ko Ko, 永島慎太郎, 山本周子, 山下真未, 秋田智之, 杉山文, 大久真幸, 片山恵子, Ork V, Md Shafiqui H, 田中純子
2. 発表標題 カンボジアにおけるHBユニバーサルワクチン導入後に出生した児におけるHBV感染状況把握のための血清疫学研究：層化無作為抽出法による全国調査
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉山文, 山下真未, 田中純子
2. 発表標題 HBV母子感染防止事業における妊婦集団のHBs抗原陽性率と感染防止に関する疫学的考察
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中純子, 杉山文, 考藤達哉
2. 発表標題 全国の肝炎ウイルス検査受験状況に関する調査研究-平成29年度肝炎検査受験状況実態把握全国調査(国民調査)の結果から-
3. 学会等名 第54回日本肝臓学会総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ko K, Nagashima S, Yamamoto C, Chuon C, Boburjon M, Jasur J, Sugiyama A, Matsuo J, Katayama K, Takahashi K, Tanaka J
2. 発表標題 A 18-year followed-up cohort study on long term prognosis related to hepatitis virus infection among hemodialysis patients in Hiroshima
3. 学会等名 APASL(Asian Pacific Association for the Study of the Liver-Single Topic Conference 2018), 横浜(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nagashima S, Yamamoto C, Ko K, Chuon C, Sugiyama A, Akita T, Katayama K, Tanaka J
2. 発表標題 The research of acquisition HBsAb after HB vaccination among 832 medical and dental students
3. 学会等名 APASL(Asian Pacific Association for the Study of the Liver-Single Topic Conference 2018), 横浜(国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Murata T, Yamamoto K, Fukuoka T, Mizuno S, Sugiyama A, Tanaka J
2 . 発表標題 False-positive reactions of anti-HCV after aortic replacement surgery
3 . 学会等名 APASL(Asian Pacific Association for the Study of the Liver-Single Topic Conference 2018) , 横浜 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Tanaka J, Woodring J, Vichit O, Wasley A, Bunsoth M, Nagashima S, Yamamoto C, Chuon C, Ko K, Hossain MS
2 . 発表標題 Sero-prevalence of Hepatitis B surface antigen among 5-7 years old children and their mothers in Cambodia by nationwide multi-stage stratified random sampling strategy
3 . 学会等名 53rd the international liver congress 2018 (EASL) , Paris, France ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takahashi H
2 . 発表標題 Overdiagnosis by conducting cancer screening other than guidelines in Japan
3 . 学会等名 11th European Public Health Conference, Ljubljana ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takahashi H, Machii R, Matsuda K, Saika K, Nakayama T
2 . 発表標題 Overdiagnosis by conducting cancer screening other than guidelines in Japan
3 . 学会等名 Preventing Overdiagnosis2018, Copenhagen ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年



1. 発表者名 高橋宏和
2. 発表標題 職場におけるがん検診
3. 学会等名 産業衛生学会関東地方会283回例会 シンポジウム, 東京
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中山富雄、高橋宏和
2. 発表標題 科学的根拠に基づくがん検診を職域で行うための課題と展望(座長)
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会 シンポジウム座長, 郡山
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋宏和
2. 発表標題 研究格差社会をどう生きるか
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会, 大阪
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayoshi Takahashi, Ken-ichi Kamo, Tetsuji Tonda
2. 発表標題 Growth trend analysis of Japanese Larch ( <i>Larix kaempferi</i> ) in Japan using long term monitoring data and growth function selection
3. 学会等名 The Joint Conference of the Symposiums of the Sustainable Forest Ecosystem Management 2018 and the IUFRO 4.02.02 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayoshi Takahashi, Ken-ichi Kamo, Tetsuji Tonda.
2. 発表標題 Appropriate growth function for tree height model of Japanese Larch
3. 学会等名 FORMATH2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加茂憲一
2. 発表標題 全国がん罹患数推定値における登録率の推定
3. 学会等名 地域がん登録全国協議会第27回学術集会, 沖縄
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rei Goto
2. 発表標題 Challenges in HTA of medical devices in countries with limited experience: situations in Japan
3. 学会等名 ISPOR(International Society of Pharmacoeconomics and Outcome Research) Asia-pacific meeting, Tokyo (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rei Goto
2. 発表標題 Value of innovative medications from the patients' perspectives in Asia: situations in Japan
3. 学会等名 ISPOR(International Society of Pharmacoeconomics and Outcome Research) Asia-pacific meeting, Tokyo (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rei Goto
2. 発表標題 Cost-effectiveness of smoking cessation
3. 学会等名 ISCP (International Society of Cardiovascular Pharmacology 23rd Annual Scientific Meeting, Kyoto, Japan (招待講演) (国際学会))
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加茂憲一, 伊藤ゆり, 福井敬祐, 片野田耕太.
2. 発表標題 シミュレーションモデルを用いた大腸がん死亡リスク低減の定量化
3. 学会等名 がん予防学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中山富雄, 伊藤ゆり, 福井敬祐, 加茂憲一, 雑賀公美子.
2. 発表標題 がん検診対象者の年齢上限に関する検討
3. 学会等名 がん予防学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 K.Kamo, K.Fukui, Y.Ito, K.Katanoda.
2. 発表標題 Microsimulation model for colorectal cancer to estimate effect of FOBT screening programme and improvement in cancer care in Japan: CAMOS-J CRC
3. 学会等名 The 21st International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福井敬祐, 伊藤ゆり, 加茂憲一, 片野田耕太, 中山富雄.
2. 発表標題 マイクロシミュレーションを用いた大腸がん検診による死亡率減少効果の推定
3. 学会等名 日本疫学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中純子.
2. 発表標題 疫学的視点から身たB型、C型肝炎患者の動向
3. 学会等名 第42回日本肝臓学会西部会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ko Ko, 永島慎太郎, 山本周子, Chuon Channarena, 杉山文, 片山恵子, 田中純子.
2. 発表標題 血液透析患者コホートを対象としたHCV疫学調査
3. 学会等名 第42回日本肝臓学会西部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坂宗和明, 松下毅彦, 栗栖あけみ, 田中純子.
2. 発表標題 医学部における臨床実習と医学研究実習の学生配属先登録WEBシステム構築と運用
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下真未、杉山文、松田景子、山下嶺花、藤井奈穂子、藤井紀子、田中純子.
2. 発表標題 特定健診における腹囲別にみた危険因子数と特定保健指導効果に関する研究
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松田景子、山本嶺花、藤井奈穂子、大前沙織、田中佑佳、藤井紀子、杉山文、秋田智之、田中純子.
2. 発表標題 職域集団における経年受審者を対象とした特定健診指導介入効果に関する検討
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大和昌代、会津宏幸、大久真幸、杉山文、秋田智之、田中純子.
2. 発表標題 健診データとレセプトデータを用いた「脳血管疾患および心疾患」に関する患者対象研究
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 津谷隆史、杉山文、田中純子.
2. 発表標題 受動喫煙に関する広島県民の意識調査研究
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉山文、坂宗和明、白坂琢磨、田中純子
2. 発表標題 HIV感染症患者の服薬アドヒアランス関連因子に関する解析
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tanaka J. (筆頭)
2. 発表標題 Economic impact of HCV treatment-Japan, 2015-2030
3. 学会等名 AASLD THE LIVER MEETING 2016 Poster Sessions 1048 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamamoto C, Nagashima S, Svay S, Hok S, Do HS, Chuon C, Fujii H, Fujimoto M, Katayama K, Takahashi K, Tanaka J.
2. 発表標題 Distribution of HCV genotype and estimation of HCV genome mutation rate per year in Cambodia and Vietnam
3. 学会等名 24th International Symposium on Hepatitis C virus and Related Viruses(HCV2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tanaka J, Estes C, Razavi H.
2. 発表標題 Economic impact of HCV treatment-Japan, 2015-2030
3. 学会等名 24th International Symposium on Hepatitis C virus and Related Viruses(HCV2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中純子.
2. 発表標題 ウイルス肝炎の疫学動向
3. 学会等名 第70回中国四産科婦人科学会総会ならびに学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中純子.
2. 発表標題 がん検診における医学統計学的・疫学的アプローチ
3. 学会等名 第25回日本がん検診・診断学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamato M, Ohisa M, Sugiyama A, Tanaka J.
2. 発表標題 Prevalence of cerebrovascular and heart disease among 996,637 employees based on medical claim and health checks data in Japan
3. 学会等名 The 21st International Epidemiological Association(IEA) World Congress of Epidemiology(WCE2017)（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉山文、藤井紀子、山本周子、永島慎太郎、片山恵子、海嶋照美、大和昌代、田中純子.
2. 発表標題 15事業所集団における職種別に見た肝炎ウイルス検査受検状況およびHBV・HCV感染率に関する疫学的検討
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松尾順子、山本周子、永島慎太郎、Do Huy Son、片山恵子、高橋和明、田中純子.
2. 発表標題 ベトナムにおけるHBV genotype B4の住民内感染集積とHCC関連の変異に関する遺伝子学的検討
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 秋田智之、大久真幸、坂宗 和明、栗栖あけみ、田中純子.
2. 発表標題 都道府県別にみた肝炎ウイルスキャリア数の経年推移
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉山文、永島慎太郎、大久真幸、栗栖あけみ、坂宗和明、田中純子.
2. 発表標題 肝疾患コーディネーターの活動実態に関する全国pilot調査の結果から
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 海嶋照美、杉山文、広島県健康福祉局薬務課、田中純子.
2. 発表標題 広島県における肝疾患コーディネーターの活動に関する現状と課題
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 山本周子、山下真未、藤井紀子、永島慎太郎、杉山文、大久真幸、秋田智之、片山恵子、高橋和明、田中純子.
2. 発表標題 住民及び職域検診受験者集団を対象とした層化無作為抽出によるA型肝炎ウイルス抗体保有状況に関する疫学的考察
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永島慎太郎、山本周子、杉山文、Ko Ko、Channarena Chuon、山下真未、Muzembo Basilia Andre、秋田智之、片山恵子、田中純子.
2. 発表標題 医療系学生を対象としたB型肝炎ワクチン接種後の抗体獲得率に関する疫学的研究
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下真未、山本周子、永島慎太郎、Ko Ko、杉山文、松尾順子、田中純子.
2. 発表標題 HBV母子感染事業における妊婦集団のHBs抗原陽性率と感染防止に関する疫学的考察
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤本真弓、永島慎太郎、Ko Ko、Channarena Chuon、大久真幸、秋田智之、片山恵子、松尾順子、田中純子.
2. 発表標題 カンボジア小学生を対象とした出生時HBワクチン導入前後のHBV感染に関する疫学的検討
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Channarena Chuon、山本周子、Ko Ko、Muzembo Basilua Andre、Somana Svay、Sirany Hok、大久真幸、秋田智之、片山恵子、松尾順子、高橋和明、田中純子。
2. 発表標題 Prevalence of hepatitis B virus infection and characteristics of HBV genomes by full-length genome analysis among adult population in Cambodia
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 海嶋照美、秋田智之、大久真幸、坂宗和明、栗栖あけみ、杉山文、相方浩、茶山一彰、田中純子。
2. 発表標題 慢性肝疾患関連患者のQOLスコアを用いた広島県における治療導入の医療経済評価に関する研究
3. 学会等名 第53回日本肝臓学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中純子。
2. 発表標題 C型肝炎の治療到達点と新たな課題
3. 学会等名 第103回日本消化器病学会総会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tanaka J.
2. 発表標題 Epidemiology of HBV and HCV infections from the viewpoints of eradication of liver cancer
3. 学会等名 APASL(Asian Pacific Association for the Study of the Liver-Single Topic Conference 2017)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamamoto C, Yamashita M, Fujii T, Sugiyama A, Ohisa M, Akita T, Katayama K, Tanaka J.
2. 発表標題 Epidemiological study on age-sex stratified prevalence of HBV, HCV and HAV in 1200 random samples from general population and employees
3. 学会等名 APASL(Asian Pacific Association for the Study of the Liver-Single Topic Conference 2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 齋藤英子.
2. 発表標題 Benefits, burden, and harms of gastric cancer screening and prevention in Japan: a microsimulation model to quantify intervention options using cancer registry data
3. 学会等名 ASEANがん登録フォーラム (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤井紀子、北台晴彦、金光義雅、田中信治、河野修興.
2. 発表標題 大腸内視鏡を受けるに至るまでの経緯に関する調査研究
3. 学会等名 第25回日本消化器関連学会(JDDW2017)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 片野田耕太, 三木一正 編集	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 p 48-51 (総ページ 234)
3. 書名 胃がんリスク層別化検診(ABC検診) 胃がんを予知・予防し, 診断・治療するために, 第3章 4. 統計から見た胃がんリスク層別の可能性	

1. 著者名 片野田耕太, 三木一正 編集	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 p 79-82 (総ページ 234)
3. 書名 胃がんリスク層別化検診(ABC検診) 胃がんを予知・予防し, 診断・治療するために, 第4章 3. 胃がん生涯累積発生および死亡リスクの推定	

1. 著者名 田中純子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 最新医学社	5. 総ページ数 18-26
3. 書名 最新医学別冊 診断と治療のABC ウイルス性肝炎	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	東 尚弘 (Higashi Takahiro) (10402851)	国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策情報センター・部長  (82606)	
研究分担者	加茂 憲一 (Kamo Kenichi) (10404740)	札幌医科大学・医療人育成センター・准教授  (20101)	
研究分担者	後藤 励 (Goto Rei) (10411836)	慶應義塾大学・経営管理研究科(日吉)・准教授  (32612)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	ギルモースチュアート (Gilmour Stuart) (20608913)	聖路加国際大学・専門職大学院公衆衛生学研究科（公衆衛生大学院）・教授  (32633)	
研究分担者	堀 芽久美 (Hori Megumi) (20735732)	国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策情報センター・研究員  (82606)	
研究分担者	祖父江 友孝 (Sobue Tomotaka) (50270674)	大阪大学・医学系研究科・教授  (14401)	
研究分担者	伊藤 ゆり (Ito Yuri) (60585305)	大阪医科大学・研究支援センター・准教授  (34401)	
研究分担者	齋藤 英子 (Saito Eiko) (60738079)	国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策情報センター・研究員  (82606)	
研究分担者	田中 詩織 (Tanaka Shiori) (60848381)	国立研究開発法人国立がん研究センター・社会と健康研究センター・特任研究員  (82606)	
研究分担者	田中 純子 (Tanaka Junko) (70155266)	広島大学・医系科学研究科（医）・教授  (15401)	
研究分担者	井上 真奈美 (Inoue Manami) (70250248)	国立研究開発法人国立がん研究センター・社会と健康研究センター・部長  (82606)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高橋 宏和  (Takahashi Hirokazu)  (70438159)	国立研究開発法人国立がん研究センター・社会と健康研究センター・室長   (82606)	
研究分担者	高橋 秀人  (Takahashi Hideto)  (80261808)	国立保健医療科学院・その他部局等・統括研究官   (82602)	
研究分担者	伊森 晋平  (Imori Shinpei)  (80747345)	広島大学・理学研究科・助教   (15401)	
研究分担者	シャルヴァ アドリアン  (Charvat Hadrien)  (00739716)	国立研究開発法人国立がん研究センター・社会と健康研究センター・研究員   (82606)	削除：平成29年12月26日

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関